



## 第2回浦島デー参観ありがとうございました



11月22日（土）に「第2回浦島デー」が行われました。2年生は職場体験学習の発表会、1年生は担任、3年生は副担任の先生が授業を行いました。授業参観には、昨年度の65%を大きく上回る72%（243人）の保護者の参加があり、過去最高となりました。「集中して学ぶ、きっちり教える、しっかり観る－生徒・先生・保護者が全力で過ごす日－」というスローガンどおり、保護者の方にもご協力をいただき、真剣かつ静かに授業参観をしていただきました。ありがとうございました。



参観授業の後、香川県人権研究所の喜岡淳さんによる「人権はしあわせつくり」の講演が行われました。人権を守るということは、お互いが幸せになることであり、相手の立場になって考えたり感じたりすること。お互いの違いを認め合い、相手の立場に立った「ちょっとした心づかいと工夫」が大切であることを学びました。



また、第2回浦島デーでは、給食試食会を実施しています。今年の給食試食会には36人の保護者の参加があり、麦ごはん、

さばのごまみそ焼き、ゆで野菜のごまあえ、ふしめん汁を試食していただきました。試食をしながら、小田栄養技師より、学校給食や和食等についてのミニレクチャーもありました。試食会の感想等については、次号以降で紹介します。

## 全力を出し切るってすばらしい。カッコいい！



11月21日（金）、体育の研究会が詫間中学校であり、岩崎先生が2年1・2組男子の授業を公開しました。三豊・観音寺地区の約40名の先生が詫間中学校に来られました。夏休みから、岩崎先生を中心に、体育科の先生方全員で、みなさんが夢中になって取り組み、楽しさや喜びを味わえる体育の授業方法を研究してきました。

岩崎先生の指示をよく聞いて、全員がいきいきと全力でサッカーボールを追いかけ、失敗した人が「ごめん」と謝ると、周りの人から「いける、いける」と声がかかる。温かい雰囲気の中で授業が進んでいくので、参観された先生方も思わず引き込まれて50分があっという間に過ぎたようでした。



授業を参観された先生方からは、「とにかく元気がよく、いきいきと運動できていた」「仲間をほめる言葉やお互いに励まし合う声がよく出ていた」「得意な生徒も不得意な生徒も、汗だくになって走っていたので感動した」「つまらなそうにしている生徒が一人もいなかった」という感想をいただきました。授業を終えたみなさんの表情がとてもさわやかで明るく、充実感があふれていて、「全力を出し切って、すばらしい。カッコいい」と改めて思いました。